

「地域公共交通シンポジウム i n 中部」を開催しました

平成 28 年 11 月 2 日（水）に、ウィルあいち（愛知県名古屋市）において「地域公共交通シンポジウム i n 中部～「枠」を超えてつなげる、これからのネットワークのあり方～」を開催しました。

中部運輸局管内には地域公共交通について積極的に取り組んでいる自治体が数多くあり、9 月末現在、国土交通大臣に送付された全国 186 の地域公共交通網形成計画のうち、中部管内で制定された数は 40 にのぼり、全体の 2 割超を占めています。（中部管内の市町村数は 177 であり、全国の市町村数 1718 の約 1 割）

このようにコンパクト・プラス・ネットワークの考え方にに基づき改正された地域公共交通活性化再生法を踏まえた交通まちづくりが着実に推進されるなかで、近年のライフスタイルの変容に伴う生活圏の広域化や人口分布の偏在化、都市機能の集約化などにより、顕在化されてきた

- ・市町村境をまたぐ広域的な移動ニーズへの対応
- ・広大な中山間地でのネットワークの維持

といった課題に焦点をあて、従来の枠を超えた新たな試みを実施している事例を紹介し、最適な交通を目指す様々な工夫のあり方について共に考え、関係者間の問題意識の醸成、地域における取組の促進を企図し内容を構成しました。

第 1 部の基調講演では、交通政策審議会委員も勤められている名古屋大学大学院環境学研究科准教授の加藤博和氏から「暮らしを支える公共交通網をつくりだすために」～固定観念を打破し、鉄道・バス・タクシーの枠を超え地域をしなやかにつなげよう～と題しお話いただきました。担い手不足など現在の地域公共交通が直面する課題を明らかにするとともに、交通施策を行うにあたって需要・ニーズの把握をしっかりと行うことの重要性、その上で自治体単位にこだわることなく生活圏と一致した交通実現のため関係者や交通モードを超えた「しなやかな連携」が必要であることについて実例を交えつつ、ご講演いただきました。



名古屋大学大学院 加藤准教授



岩手県北自動車(株) 荒屋敷副部長

続いてバス・貨物の枠を超えた貨客混載事例として著名な「ヒトものバス」を運行している、岩手県北自動車株式会社 乗合事業部 副部長の荒屋敷正剛氏より講演いただき、本取組実現までの経過をご紹介いただくとともに、既存のパターンに囚われず、常にバス路線の生産性を向上させるための施策を模索し続けることが肝心であるとし、関係者の覚醒を促しました。

その後、広域的な移動ニーズへの対応事例として、県が音頭を取り地域公共交通網形成計画を策定した奈良県及び鳥取県の担当者から「広域的な地域公共交通網形成計画の策定について」と題して講演いただきました。



鳥取県 岡崎地域振興部長



奈良県
中川地域交通課長補佐

奈良県からはかつて県内バス事業者の経営状況の悪化に端を発し地域ごとに路線バスの課題を丁寧に議論し、県域全体でバス路線の必要性等を検討した経緯や計画の策定に至った状況をお話いただきました。また 10 月下旬に発生した地震から間もない中、講師としてお越しいただきました鳥取県からは、地震復旧支援への謝辞とともに、県内を生活圏ごとに分けし、米子市周辺を皮切りとして県全域で計画を策定する構想や、計画策定に当たっての留意点などについてお話いただきました。共に地域にふさわしい交通計画とはどうあるべきなのか、改めて参加者に問うものとなりました。

会場では公共交通の現在進行的な動きを知っていただくことを目的として、三重県鳥羽市のモード間を連携した交通時刻表の取り組み事例や、自治体間を跨いだ地域公共交通網形成計画である佐賀県唐津市・玄海町の事例等をポスター展示により紹介し、講演の合間に多くの方よりご覧いただきました。



ポスター展示状況

シンポジウム第2部では昨年に引き続き、講演による情報提供のみでなく、双方向の意思疎通を図るべく、自治体・事業者から質疑に運輸局職員が答える個別相談会を実施しました。各支局のブースは全て埋まり、予定時間を過ぎても熱心な質疑応答が止むことはありませんでした。運輸局に対する情報提供機能やコンサルティング機能への自治体の期待の高さを再認識することとなりました。



最後に、本シンポジウムに自治体・事業者等約200名超の皆様にご参加いただき、盛況のうちに終わったことを報告いたしますとともに、聴講・相談されていた皆様の真剣な眼差しから感じ取られた公共交通の維持・活性化に向けた熱意に応えるべく、中部運輸局では交通に関する課題解決に関係者一丸となって取り組んでいく地域をサポートする「みんなの交通応援プロジェクト」の更なる充実を図ってまいります。

※シンポジウムの詳細、資料等については、中部運輸局「みんなの交通応援プロジェクト」WEBページに掲載しております。

http://www.tb.mlit.go.jp/chubu/min_pro/transport/seminar.html